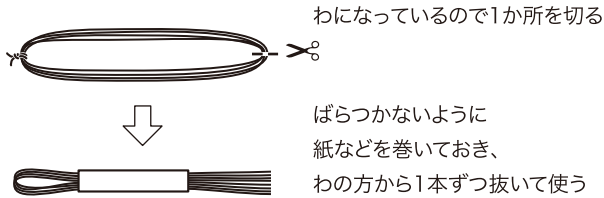




糸の扱い方

- 刺し子糸は自然な風合いを出すため、糸の撚りがやや甘いのが特徴です。ほぐさずに、そのままお使い下さい。



印刷布について

- 印刷布のラインはお洗濯を繰り返すと薄くなるプリントです。おつくりになる前に水通しをすると、ラインが見えにくくなったり消えたりしますので、ご注意ください。
- でき上がった後に、はみ出したラインを消す場合は、少量の水を含んだ綿棒などで軽くこすると、薄くなります。
- 多量の水をかけて放置すると材料の色などが移染するおそれがありますのでご注意ください。
- 綿は天然繊維のため、ネップ(糸の節)が発生する場合があります。

完成後のお取り扱いについて

- ドライマーク用中性洗剤を使用し、常温の水でやさしく押し洗いしましょう。
- 刺し子糸の色落ちを防ぐために、水へのつけ置き洗いは避けましょう。
- 洗った後は手早く脱水して干して下さい。

縫い代の始末

- 印刷布を中表に二つ折りし、返し口を残して、印刷線より1c外側をミシンや手縫いで縫う。
- 縫い代を1cに切りそろえ、表に返して返し口をとじる。



harudakeで仕立てる場合参照

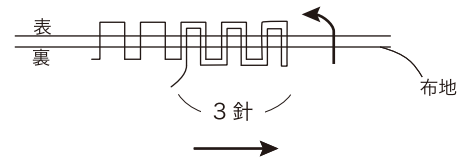
刺し方

- 2本どりで刺す場合、1本の糸を針に通し、わにして2本どりで刺す

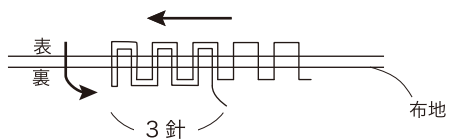


- 針目は印刷線にそって刺す
- まず周囲の外枠を刺し、中の模様を刺し始める
- 刺しはじめと刺し終わりはそれぞれ3針重ねて刺し、布のきわで糸を切る(玉止めはしない)

<刺しはじめ>



<刺し終わり>



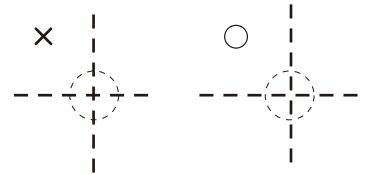
- 縫いすすむ度に布をしごき、生地が縮まないようにする

刺し方のポイント

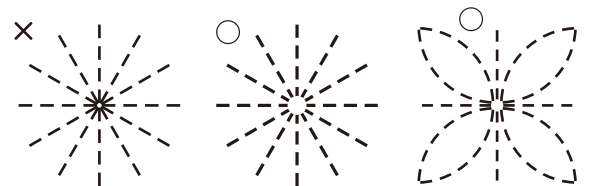
- 角に必ず針目が出るように刺す



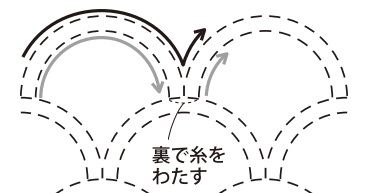
- 交差部分は、針目が表で重ならないように刺す



- 交差部分は、円を描くように開けて刺す



- 針目がとぶときは、裏で糸をわたす

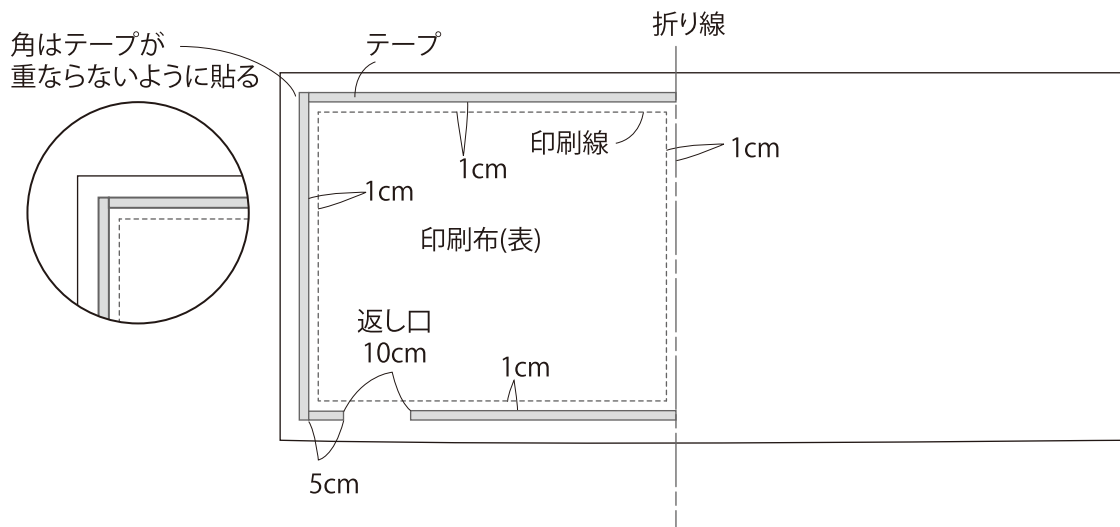


harudakeで仕立てる場合 2-2

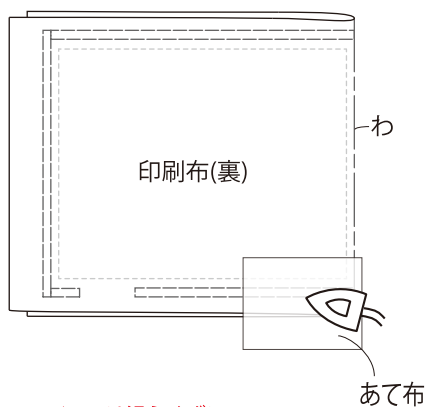
harudake 7mmを使用

※harudakeはアイロンの熱で接着する布用両面テープです。
詳しい使い方は、harudakeのパッケージをご確認ください。

- 1,印刷布(表)の印刷線から1cm外側に図のようにテープを合わせて貼る
下図のように、返し口をあける。



- 2,はくり紙をはがして二つ折りする。
あて布をして、アイロンを中温で約30秒あてて接着する

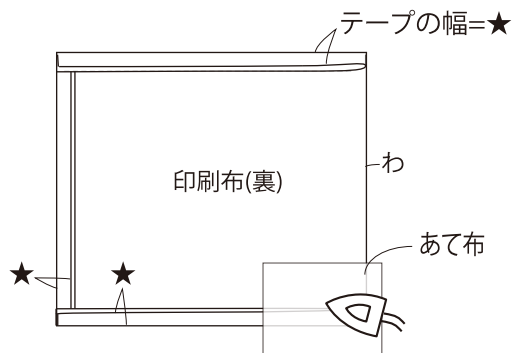


※アイロンは滑らせずに
上から押さえるようにあててください。
焦がさないようにご注意ください

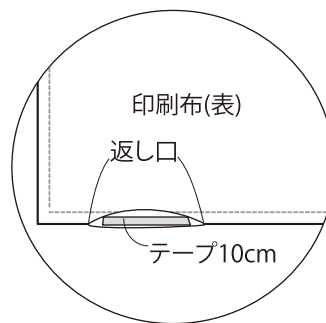
- 3,温度が下がったらテープの外側のきわでカットする



- 4 アイロンで出来上がりに折る



- 5,表に返して返し口にテープを貼る



- 6,周囲と同様にアイロンあてて、接着する

